



BABY UNIVERSE



取り扱い説明書

目次	必要システム構成	1
	インストールの方法	1
	試用とIDナンバー	2
	作業の基本的な流れ	3
	作業の基本的なルール	5
	作業パレットの名称	7
	各コマンドの使い方とルール	10
	操作方法の例	18
	高度な機能	23
	単位や線色の設定	27
	トラブルシューティング	28
	アラート表示について	29

インストールの方法

※インストールの前に、必ずイラストレータを終了してください。

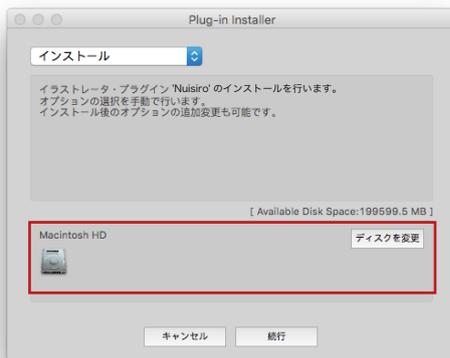
Macintosh 版



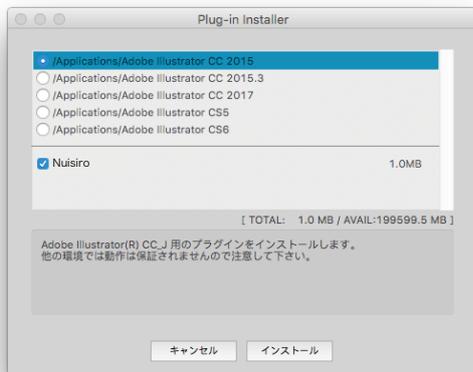
Windows 版



縫い代ツールを開くと左図のようになっています。「Installer」又は「Setup.exe」をダブルクリックしてインストーラを起動してください。



最初のインストーラの画面が立ち上がったなら、「開始」ボタンを押してください。すると左図のような画面となります。インストーラが自動的に適切なディスクを探しますが(赤枠部分)、目的のイラストレータが別のディスクに入っている場合などは「ディスクを変更」ボタンで変更してください。適切なディスクが選択されたら「続行」をクリックしてください。



次に、左図のような画面になります。インストーラが、お使いのコンピュータのディスクにインストールされているすべてのイラストレータを自動的に探しますので、インストールしたいバージョンを選択してください。「インストール」をクリックすると、インストールが始まります。



*) Prefsは、以下の場所にあります。

Macintosh: user/書類/Adobe/Illustrator/Prefs

Windows: ドキュメント/Adobe/Illustrator/Prefs

□の部分のデータをインストールする必要があります。

手動インストールの場合

1. 「Plug-ins」フォルダを開き、ご使用のイラストレータに適合したバージョンのフォルダ内の「Nuisiro.aip」ファイルを、バージョンの合ったイラストレータの「プラグイン」フォルダの第一階層にドラッグ&ドロップする
2. 「Prefs」フォルダ内の「Nuisiro.ini」ファイルを左図の場所にドラッグ&ドロップする

試用とIDナンバー

1. イラストレーターの起動中に「縫い代ツール」のIDを入力するパレットが表示されますので、IDナンバーを入力しOKボタンを押してください。

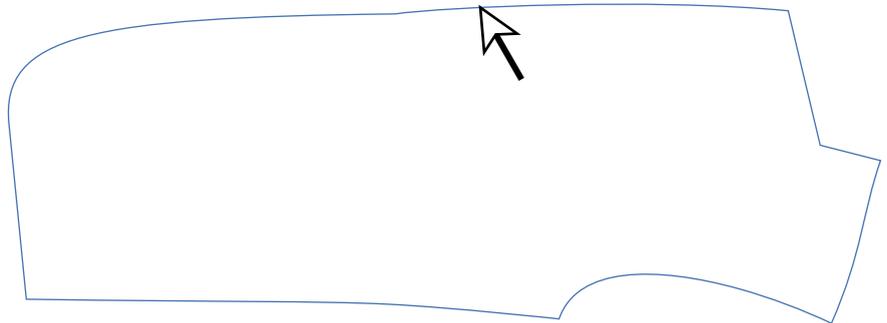


インストールが正しく行われなかった場合は、イラストレーターの起動時にID入力パレットが表示されません。再度インストールをやりなおしてください。

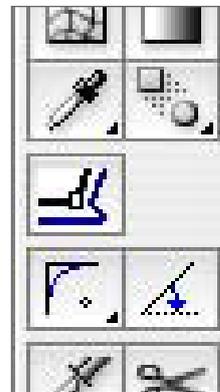
2. ID入力パレットの「試用」ボタンを押すと、30回まで「縫い代ツール」を試用できます。
3. イラストレーターが起動したら、ツールボックスに「縫い代ツール」アイコンがあること、またウインドウメニューに「縫い代ツールを表示」があることを確認してください。

作業の基本的な流れ

1. 対象となるパーツをひとつ（複数のパーツを同時に処理することはできません）選択します。



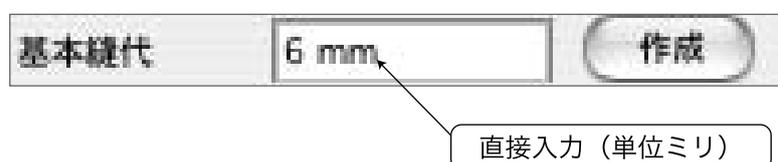
2. ツールボックスの「縫い代ツール」を選択します。



3. 新規コマンドセットを作ります。



4. 「基本縫い代」を作成します。



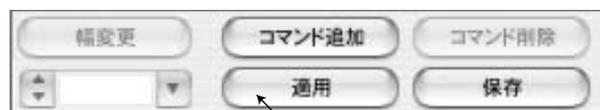
5. 「片側延長」を使い、パーツ各部の縫い代幅を変更します。



6. 「角処理」コマンドを使い、パーツ各部の角処理を行います。



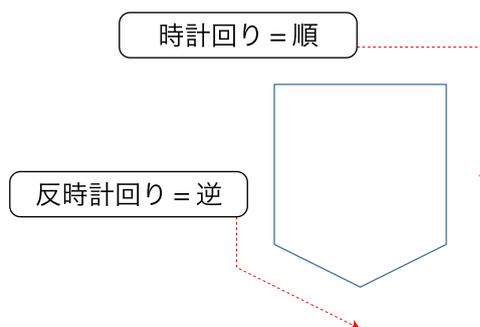
7. コマンドセットを「適用」します。



適用ボタンを押す

作業の基本的なルール

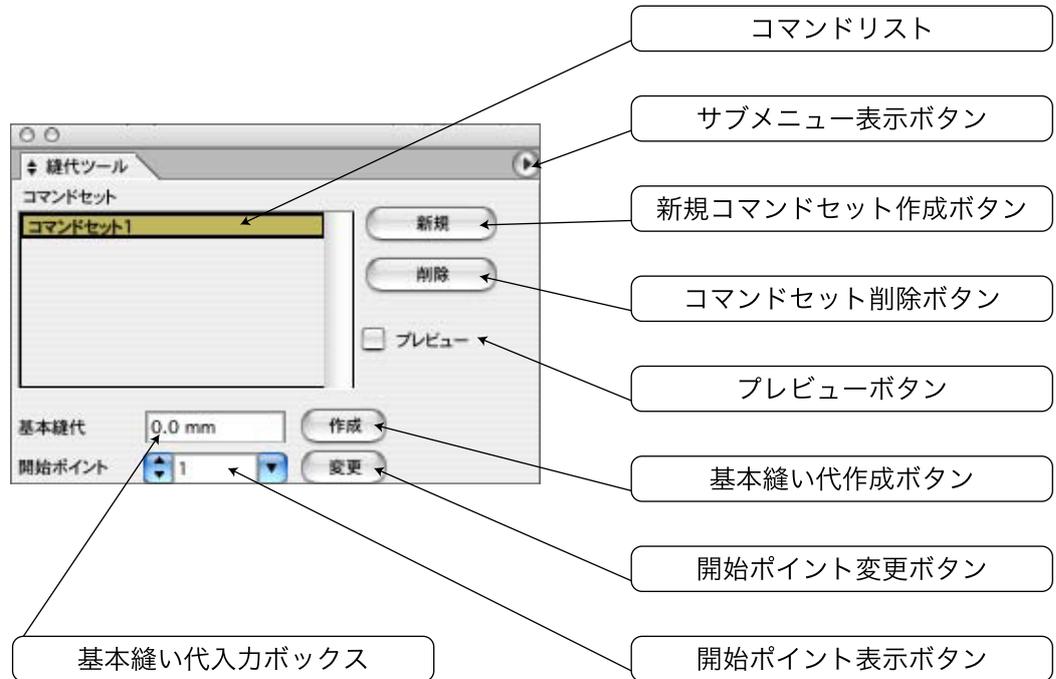
作業の順番	縫い代を作成する作業は①「基本縫い代」、②「片側延長」、③「角処理」の3段階に分けて行われますが、「角処理」作業は原則として「片側延長」の後に行わなければなりません。「角処理」を行った後から「片側延長」で縫い代幅を変更することはできません。
作業の ON と OFF	縫い代作成作業はツールボックスの「縫い代ツール」を選択することで ON となり、作業ができる状態となりますが、対象となるオブジェクト（パターンパーツ）が選択されていることが前提となります。ツールボックスの「縫い代ツール」以外のツールを選択することで、縫い代作成作業は OFF となります。
縫い代ツールパレット	ウインドウメニュー / 縫い代ツールを表示、を選択すると「縫い代ツール」パレットが表示されます。またパレットは、対象となるパターンを選択し、ツールボックスの「縫い代ツール」を選択することで自動的に表示されます。 パレットが表示されていても、ツールボックスの「縫い代ツール」が選択されていない場合は「縫い代作成」パレットは OFF の状態で使えません。 「縫い代作成」パレットを閉じる時は、ウインドウメニュー / 縫い代ツールを隠す、を選択するか、パレットの閉じる（X印）ボタンを押します。
単位	縫い代ツールで使用できる単位は mm（ミリメートル）のみです。基本縫い代や片側延長など、縫い代幅の設定はすべて mm（ミリメートル）で入力してください。
方向	縫い代ツールでは時計回りを「順」、反時計回りを「逆」と、対象となるパターンパーツに方向を定めています。 片側延長や反転コマンドなど、縫い代幅と角処理を設定する際には、設定順序が決められています。



書類間移動	縫い代作成作業中に、他の書類に移動することはできません。 他の書類に移動して作業する際は、必ずツールボックスの別のツールに持ち替え、縫い代作成作業を中断してください。
複数処理	同時に複数のパーツを処理することはできません。 縫い代ツールで縫い代作成ができるパーツは、一回に1パーツのみです。
作業の中断	縫い代作成作業を途中で中断する場合は、いったんツールボックスの別のツールに持ち替えて（ショートカットでの持ち替えは適用されません）ください。作業が中断されます。
適用パス	縫い代ツールで適用できるオブジェクトはクローズドパス（閉じたパス）のみです。オープンパスへの適用はできません。
コマンドセットの保存	コマンドセットの内容は名前を付けて保存できます。 保存したコマンドセットは、サイズの違う同じパーツに適用することができます。該当パターンを選択し、ツールボックスの縫い代ツールに持ち替えます。縫い代ツールパレットのコマンドリストから該当するコマンドセットを選択し「適用」ボタンを押します。
注意事項 1	縫い代ツールは独自のロジックで計算処理されるため、縫い代幅や角処理に矛盾がある場合、自動処理を実行できないか、想定外の処理で縫い代を生成することがありますのでご注意ください。
注意事項 2	縫い代ツールを実行後、ごくまれに、縫い代上に不正な図形（飛び出しや切れ込みなど）が生成される場合があります。 この現象は Illustrator 自体に内在する根本的不正が原因と思われ、プログラムのこれを回避することはできません。もし上記のような現象が再現された場合は、以下のいずれかの方法で対処してください。
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 該当パターンの位置を、アートボード上の違う場所に移動する 2. 該当パターンを回転（90° または 45° ）させる 3. 該当パターンを新規書類にコピーする
	上記現象はこれらの操作でほとんどの場合回避されることが確認されています。

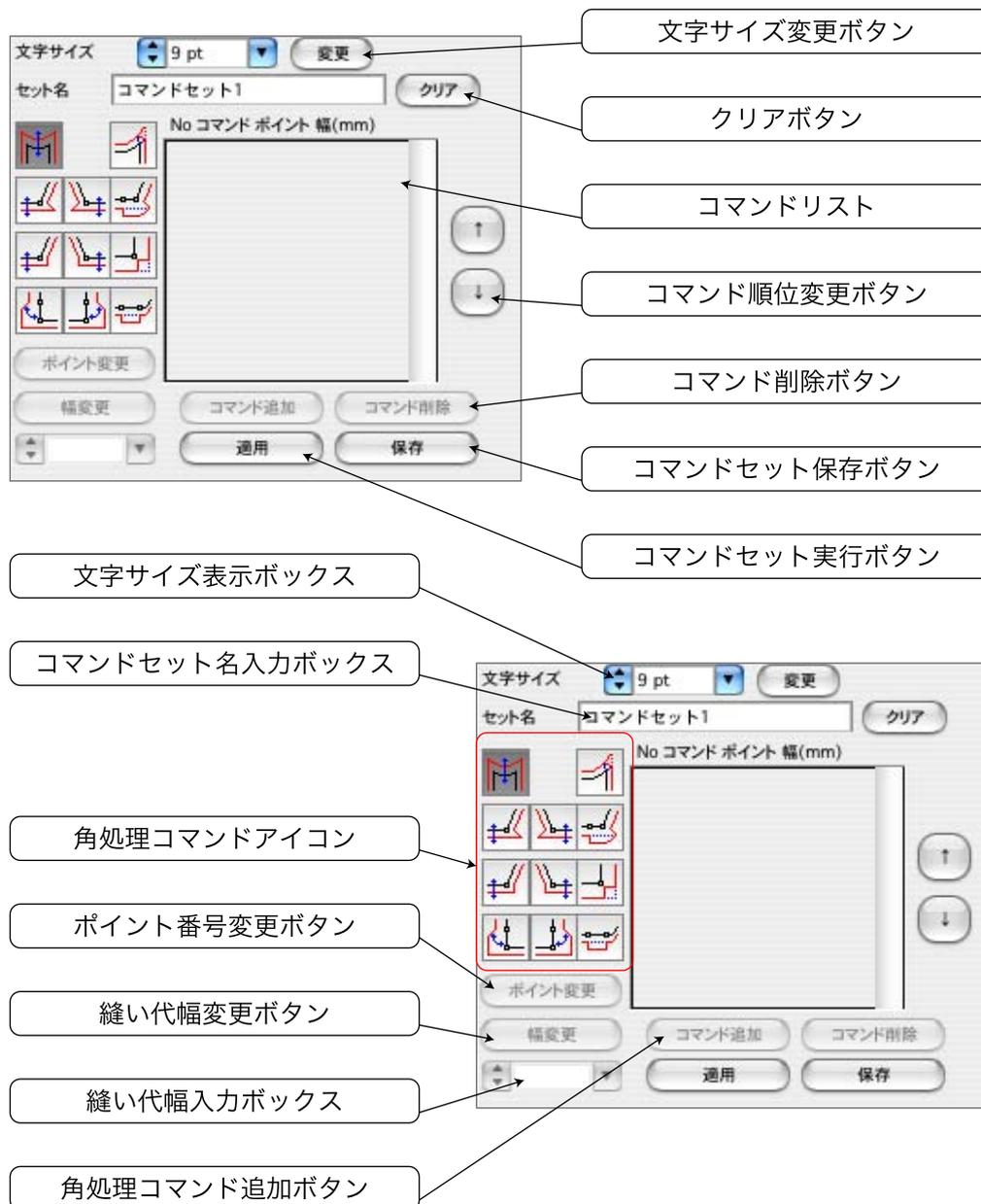
作業パレットの名称

パレット上部 縫い代作成作業はツールボックスの「縫い代ツール」を選択することでONとなり、作業ができる状態となりますが、**対象となるオブジェクト（パターンパーツ）が選択されていること**が前提となります。ツールボックスの「縫い代ツール」以外のツールを選択することで、縫い代作成作業はOFFとなります。



- | | |
|--------------------|--|
| コマンドリスト | 作成したコマンドセットを作成順に表示します。 |
| サブメニュー表示ボタン | サブメニューを表示します。 |
| 新規コマンドセット
作成ボタン | 新規コマンドセットを作成します。 |
| コマンドセット
削除ボタン | コマンドセットを削除します。 |
| プレビューボタン | 縫い代作成作業をプレビューします。 |
| 基本縫い代
入力ボックス | 基本縫い代を作成します。
基本縫い代幅を入力し、作成ボタンで実行します。 |
| 開始ポイント
表示ボタン | パターンに表示されたポイント番号を変更します。
変更ボタンを押して実行します。 |

パレット下部 パレット上部右上の「サブメニュー表示ボタン」で、パレット下部を表示できます。



文字サイズ表示ボックス パターンに表示されたポイント番号の文字サイズを表示します。文字サイズ変更ボタンを押して変更します。

クリアボタン リスト内容を一括で削除します。

コマンドリスト リスト内容とその順番を一覧で表示します。

コマンド順位変更ボタン リスト内容の順番を変更します。該当コマンドを選択して上下ボタンを押します。

コマンド削除ボタン 選択したコマンドを削除します。

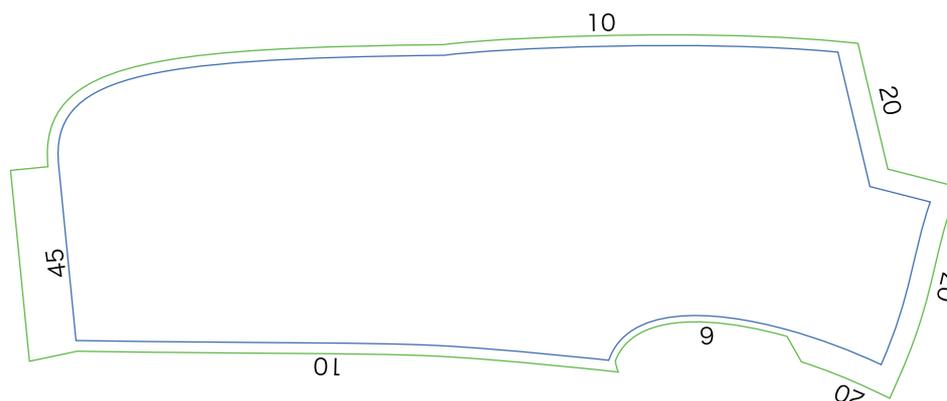
コマンドセット 実行ボタン	セットしたリスト内容を実行します。
コマンドセット 保存ボタン	セットしたリスト内容を保存します。
コマンドセット名 入力ボックス	コマンドセット名を入力します。
角処理コマンドアイコン	基本縫い代に続き、片側延長などの各コマンドを必要に応じて追加します。アイコンを選択し「角処理コマンド追加」ボタンを押します。コマンドリストにコマンドが追加されます。
ポイント番号変更ボタン	追加した各コマンドの設定ポイントを変更する場合、該当コマンドを選択し「ポイント変更」ボタンを押します。改めて設定箇所を指定します。
縫い代幅入力ボックス	片側延長、折り返し、切り落とし、45°、カンコの各コマンドを設定する際、処理する範囲の縫い代幅を入力します。「縫い代幅変更」ボタンを押して確定します。

各コマンドの使い方と ルール

基本縫い代 最初に設定する縫い代が基本縫い代です。
以下の入力ボックスに半角英数で直接入力してください。使える単位はミリのみです。
基本縫い代幅を入力したら、右側の作成ボタンを押します。コマンドセットボックスに基本縫い代が追加されます。



基本縫い代は、対象となるパターンの中で、最も幅の狭い部分を設定します。下図のようなパターンの場合、最小縫い代幅はアームホールの6ミリですから、基本縫い代は6ミリに設定します。
幅の広い部分、例えば前端の10ミリを基本縫い代に設定すると、後から設定する「片側延長」が正常に動作しません。



片側延長

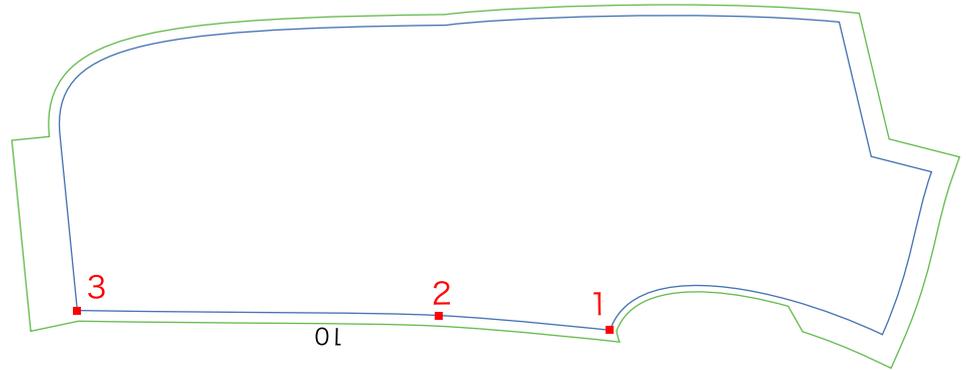


片側延長は、幅の異なる縫い代を作成します。

原則として、全ての角処理コマンドより先に片側延長を設定します。片側延長は、対象となるパターンの中で、最も幅の狭い部分から順番に設定します。

片側延長のポイント設定は順方向で指定します。

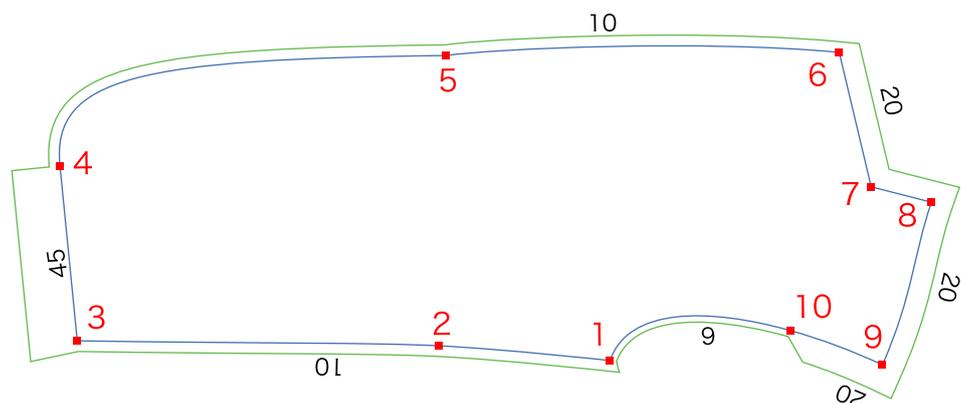
例えば上図で脇の幅を指定する場合、ポイント1からポイント3の順番（時計回り＝順方向）でポイントを設定します。

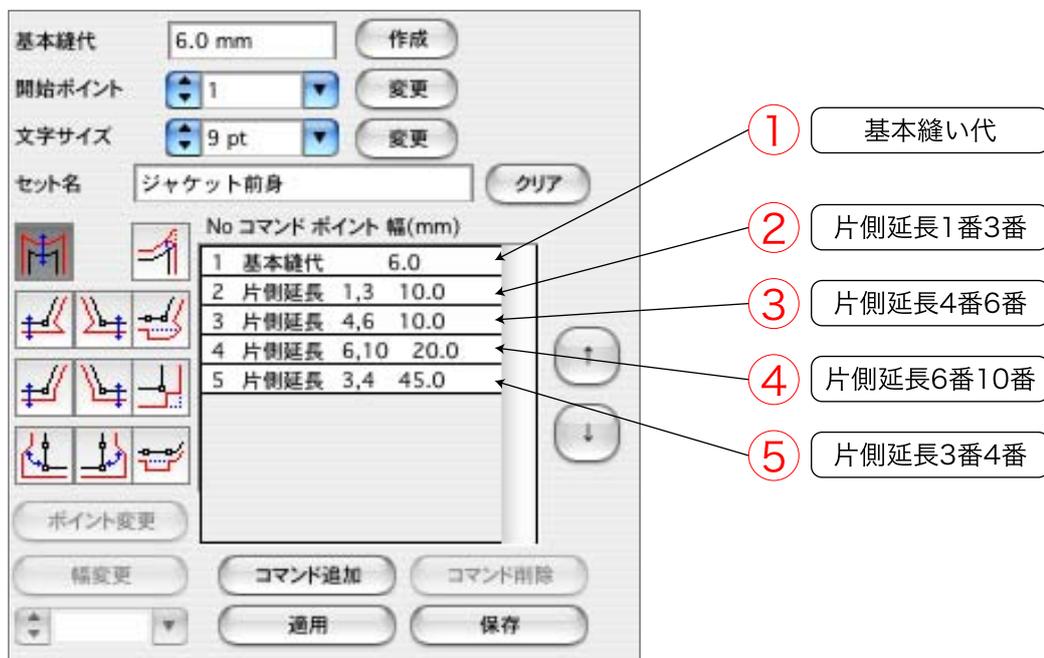


下図のようなパターンの場合、基本縫い代幅はアームホールの6ミリと設定しますが、片側延長で最初に設定する部位は、前端的10ミリか脇の10ミリとなります。同じ幅であれば順番は前後して構いません。

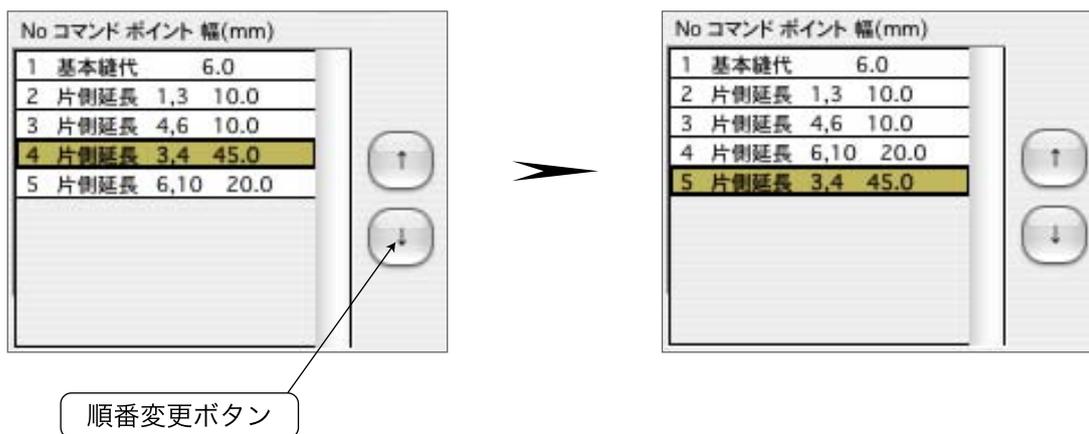
二番目に設定する部位は、衿グリ、肩線、アームホールの一部である20ミリとなります。そして最後に裾の45ミリを設定するわけですが、合計6回の片側延長を設定します。

ただし下図のように、1番から3番、4番から6番、6番から10番のポイントまでは、同じ縫い代幅が連続します。このような場合は一回のコマンドで同じ縫い代幅の番号を指定することができますので、下図の片側延長は4回となり、ここまでのコマンドセットの内容は次図のとおりとなります。





作業中に設定順を間違えたとき、または適用後に間違いに気づいたときは、「順番変更ボタン」で順番を入れ替えてください。

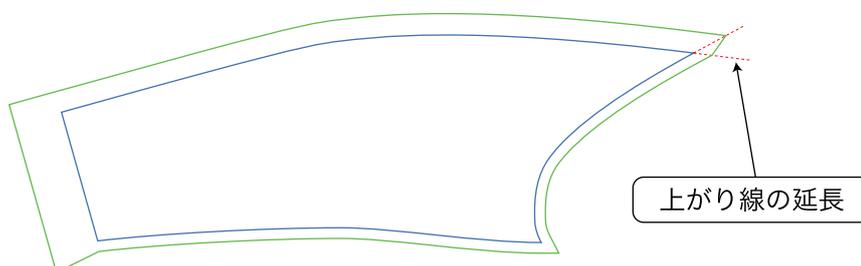


延長交差



延長交差は、生成された縫い代の角を、上がり線に沿って互いに延長交差した部位で結合する角処理コマンドです。

延長交差アイコンをコマンドセットに追加し、延長交差させたいポイントを指定します。



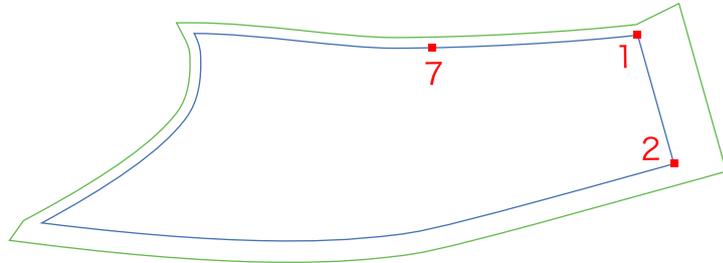
反転順



反転順は、反転軸が該当ポイントの順方向にある場合に使う反転ツールです。

下図ポイント1の角を反転させる場合、反転軸である袖口線はポイント1から見て順方向（時計回り）の1番 - 2番に位置するため、反転コマンドは「反転順」を選びます。

反転順アイコンをコマンドセットに追加し、反転させたいポイントを指定します。



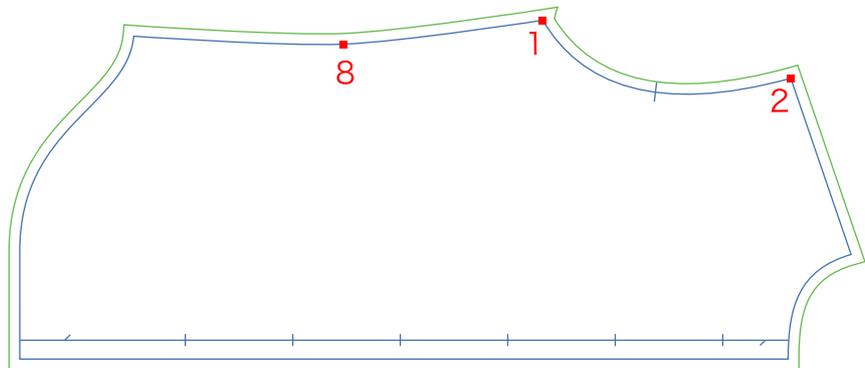
反転逆



反転逆は、反転軸が該当ポイントの逆方向にある場合に使う反転ツールです。

下図ポイント1の角を反転させる場合、反転軸である脇線はポイント1から見て逆方向（反時計回り）の8番 - 1番に位置するため、反転コマンドは「反転逆」を選びます。

反転逆アイコンをコマンドセットに追加し、反転させたいポイントを指定します。



折り返し

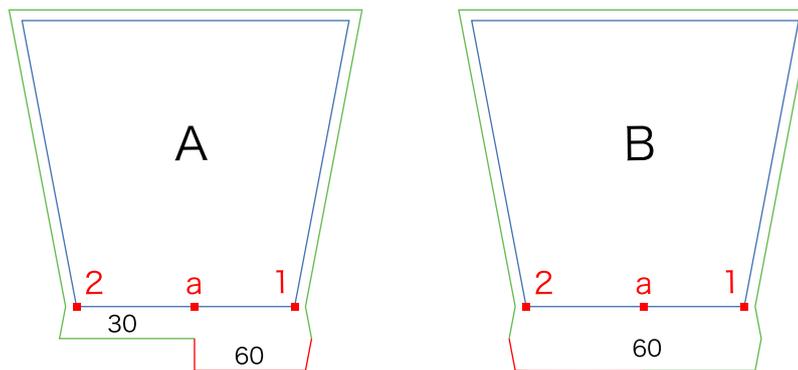


折り返しは、下図 A 赤線部分のような形状を生成する場合に使うコマンドです。

ポイント 1、2 に 30 ミリの片側延長と反転を設定し、更に反転の反転をポイント 1-a に設定した場合、赤線のような形状が生成されます。

またポイント 2-a に折り返しを追加設定することで、下図 B のような左右均等の形状を生成できます。

なお折り返しコマンドは、設定順序に方向制限はありません。

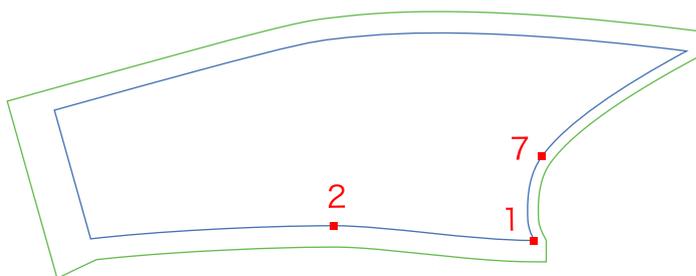


90° 順

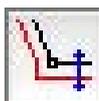


90° 順は、反転軸が該当ポイントの順方向にある場合に使う 90° 反転ツールです。

下図ポイント 1 の角を 90° に反転させる場合、反転軸である内袖線はポイント 1 から見て順方向（時計回り）の 1 番 - 2 番に位置するため、反転コマンドは「90° 順」を選びます。

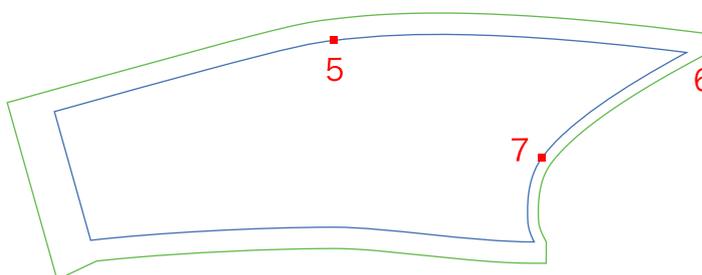


90° 逆

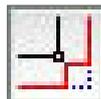


90° 逆は、反転軸が該当ポイントの逆方向にある場合に使う 90° 反転ツールです。

下図ポイント 6 の角を 90° に反転させる場合、反転軸である外袖線はポイント 6 から見て逆方向（反時計回り）の 5 番 - 6 番に位置するため、反転コマンドは「90° 逆」を選びます。



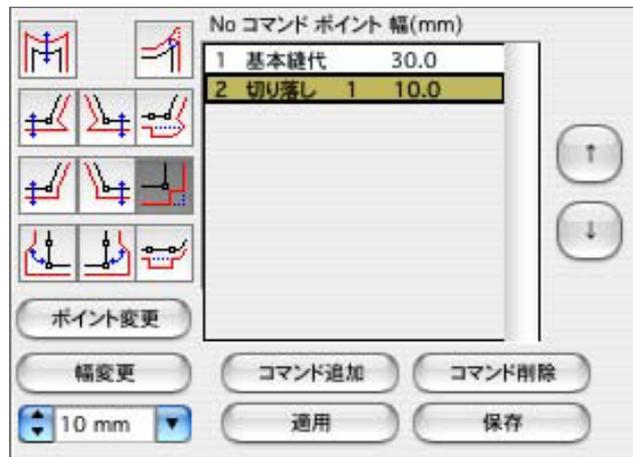
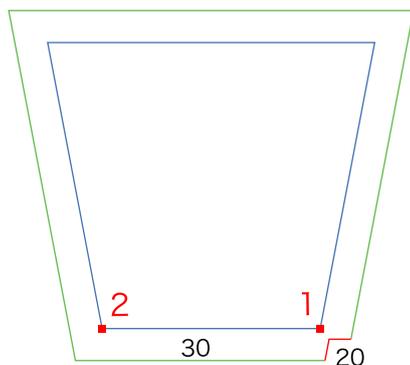
切り落とし



切り落としは、下図赤線部分のような形状を生成する場合に使うコマンドです。

パーツ全体に 30 ミリの片側延長を設定し、ポイント 1 に 10 ミリの切り落としを設定した場合、赤線のように、20 ミリ幅（上がり線から 10 ミリ）の切り込み形状が生成されます。

切り落としアイコンをコマンドセットに追加し、切り落としたいポイントと切り落とし幅を設定します。



注意

切り落としコマンドは、基本縫い代及び片側延長で生成された箇所のみで使用できます。反転、90°、折り返し、45°、カンコが設定されている角には適用されません。

縫い代幅の全てを切り落とす（幅を 0 にする）ことができます。

上図の場合なら、切り落とし幅を 0 ミリで設定すれば、上がり線のポイント 1 まで切り込むことができます。

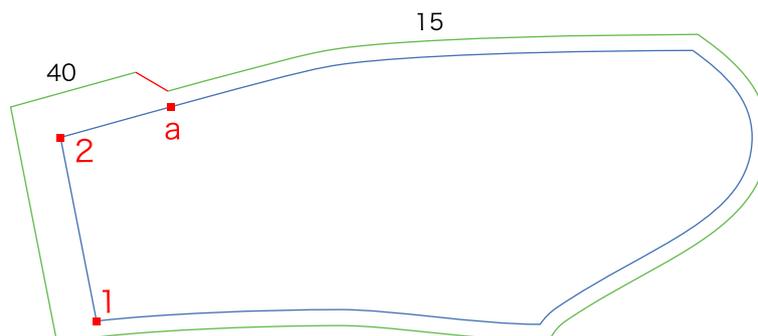
45° 順



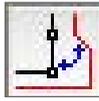
45° コマンドは、生成する縫い代の片側を 45° にカットするツールです。45° にしたい側を最後（二番目）に設定するため、順方向と逆方向とでアイコンを使い分けます。

下図は、ポイント 1 から a までに 40 ミリの縫い代を付け、更にポイント a に向かって 45° にする場合です。

ポイント指定の順番は 1-a と順方向で行われるため、45° コマンドは「順」を使います。

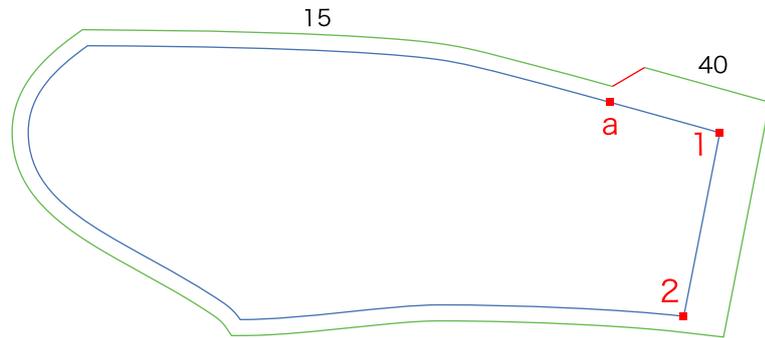


45° 逆



下図は、ポイント 2 から a までに 40 ミリの縫い代を付け、更にポイント a に向かって 45° にする場合は、

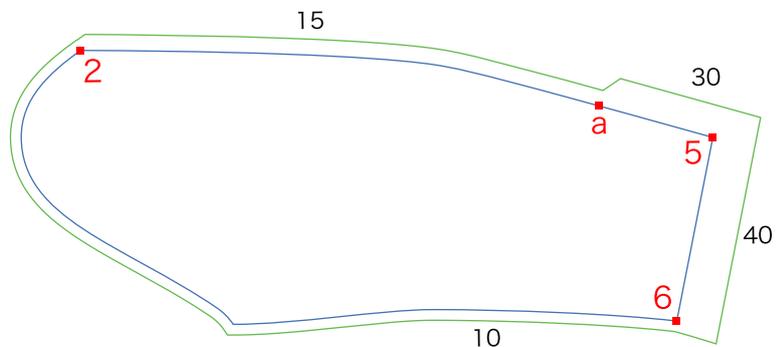
ポイント指定の順番は 2-a と逆方向で行われるため、45° コマンドは「逆」を使います。



注意 45° コマンドは、ポイントの指定順序によって使用するコマンドが異なります。

45° にしたいポイント（二番目に指定するポイント）は、アンカーポイント以外の任意のパス上に設定することができます。

45° にしたい部分の縫い代幅が周囲の縫い代幅より狭い場合、広い方の片側延長を先に追加します（下図参照）。



No コマンド ポイント 幅(mm)	
1	基本縫代 10.0
2	片側延長 2,5 15.0
3	45°逆 5,a 30.0
4	片側延長 5,6 40.0
5	反転逆 6

ポイント変更

幅変更 30 mm

コマンド追加 コマンド削除

適用 保存

45° 逆 (周囲より狭い縫い代)

縫い代幅が上の45° より広い

カンコ

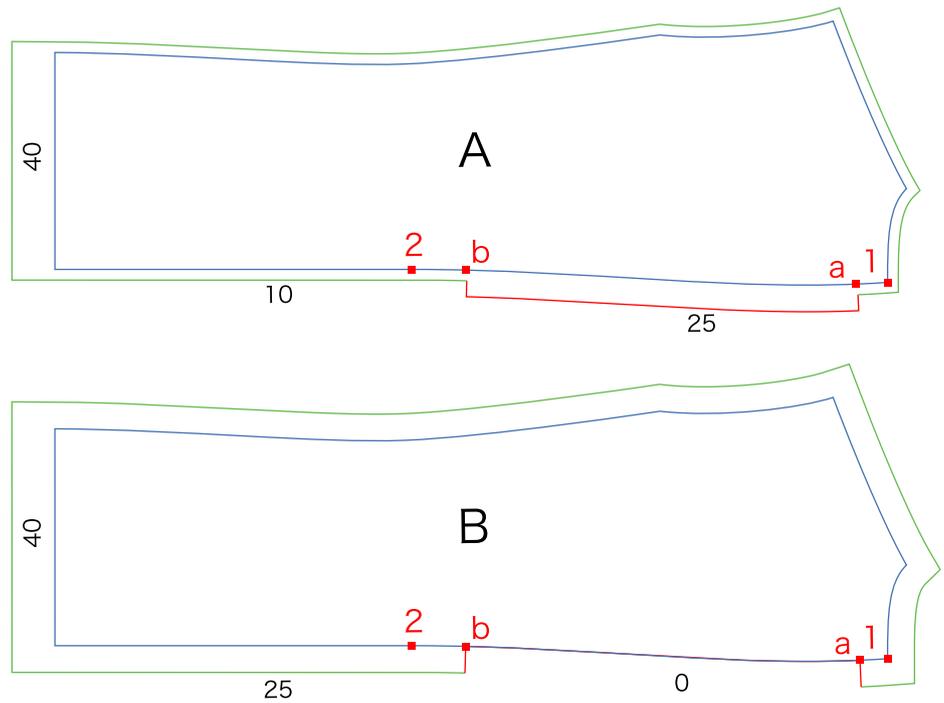


カンコは、下図 A、B 赤線部分のような形状を生成する場合に使うコマンドです。

カンコを設定したい縫い代（アンカーポイントまたはパス上の任意の点）を**順方向で指定**します。

下図 A の場合、基本縫い代 10 ミリ、片側延長（裾）40 ミリをそれぞれ設定した後、カンコにしたいポイント a-b を順方向（時計回り）25 ミリで設定したものです。

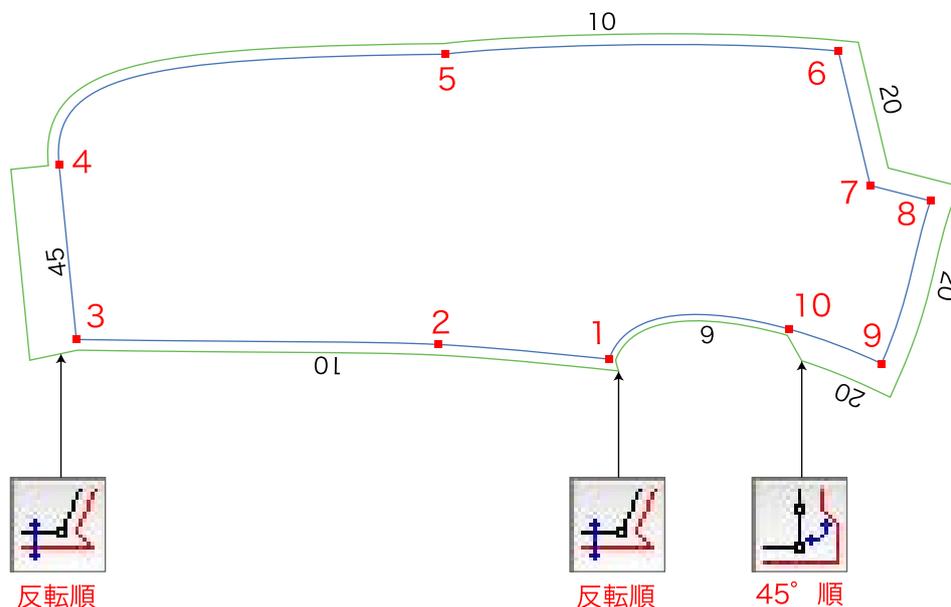
またカンコは「0」設定ができるため、下図 B のように、カンコ部分 a-b の縫い代を「0」に設定できます。



操作方法の例

下図のようなジャケットパターンを例に、具体的な縫い代付け作業を行います。

図中ブルーの線は仕上がり線を、グリーンの線は縫い代線（裁ち切り線）を示します。黒字数値は縫い代幅（ミリ）、赤数字はポイント番号、赤文字は角処理に適用したコマンド名（アイコン）を示します。



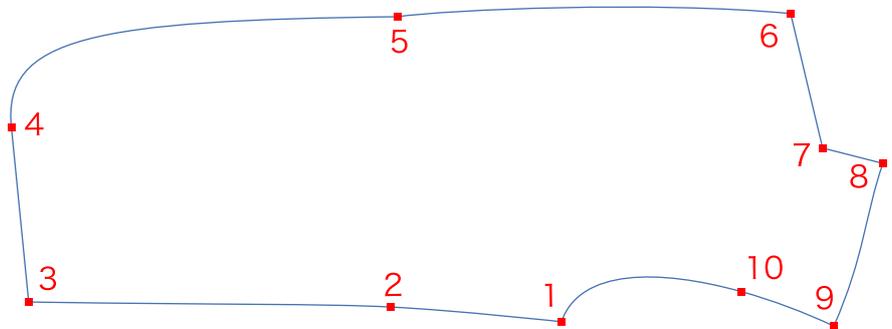
基本縫い代 基本縫い代は、アームホールが最小幅となるため、6ミリと設定します。

片側延長 脇の1から3、前端4から6は10ミリ、衿グリ、肩線、アームホールの一部6から10は20ミリ、裾3から4が45ミリとなり、片側延長はそれぞれの範囲を指定して縫い代幅を設定します。
順番は上記のとおり狭い幅から行わなければなりませんので、1番目が1-3、二番目が4-6、三番目が6-10、最後に3-4となります。

コマンドリスト内容順 ただしポイント10は45°の処理をかけるため、範囲を6-10とし、その部分の片側延長は必要なくなります。
更に反転させたい角が1と3になるので、コマンドセット全体の内容順は以下ようになります。

基本縫い代	6ミリ
片側延長	1-3、10ミリ
片側延長	4-6、10ミリ
片側延長	3-4、45ミリ
反転順	1
反転順	3
45° 順	6-10、20ミリ

1. 対象のパーツを選択し、ツールボックスの「縫い代ツール」を選択します。「縫い代ツール」パレットが表示されます。
2. パレットの「新規」ボタンを押します。
選択したパーツの各アンカーポイントに、時計回りでポイント番号が振られます。この番号は開始位置を変更することができます。また番号の文字サイズを変更したい場合は「文字サイズ」で変更します。



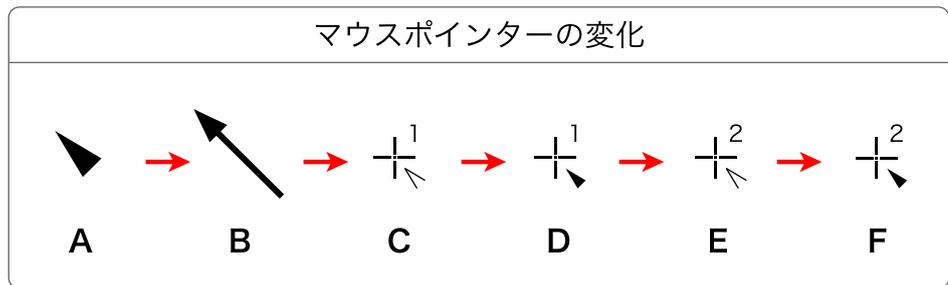
3. 「セット名」のテキストボックスに保存するセットの名称を記入します。ここでは「ジャケット前身」という名称にします。



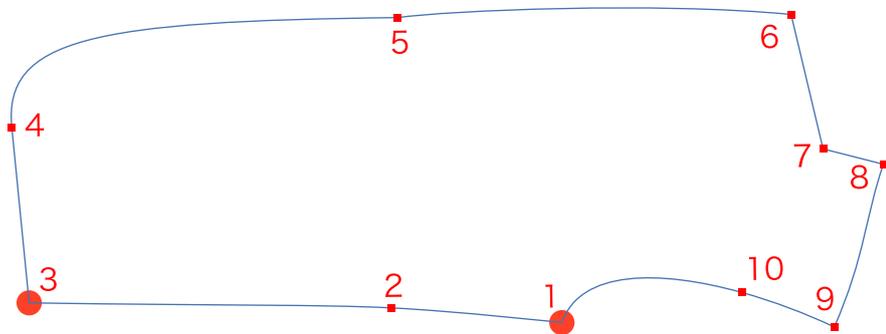
4. 「基本縫い代」に6mmと入力し「作成」ボタンを押します。プレビューにチェックを入れると選択したパーツに基本縫い代が生成されます。コマンドリストに基本縫い代が追加されます。また同時に、レイヤーパレットに「ワークレイヤー 1」という新たなレイヤーが作成されます。



5. 「片側延長」アイコンを選択し「コマンド追加」ボタンを押します。
6. マウスポインターが矢印型 (A～F) に変化します。
最初に脇の縫い代 10 ミリを設定します。
縫い代幅を変更したいアンカーポイントを、時計回りで順番に選択します。
マウスポインター C を最初のアンカーポイント 1 に重ねるとマウスポインターが D に変化します。
そのままクリックします。ポインターが E に変化します。
二番目のアンカーポイント 3 にマウスを持っていくと、ポインターが F に変化します。クリックして範囲指定を完了します。



7. 指定が完了すると、下図のとおり二カ所のアンカーポイントに赤丸が記されます。



8. 「幅変更」テキストボックスに縫い代幅 10mm を入力し「幅変更」ボタンを押します。縫い代幅が変わったことを確認してください。またコマンドリストに片側延長が追加されたのを確認してください。



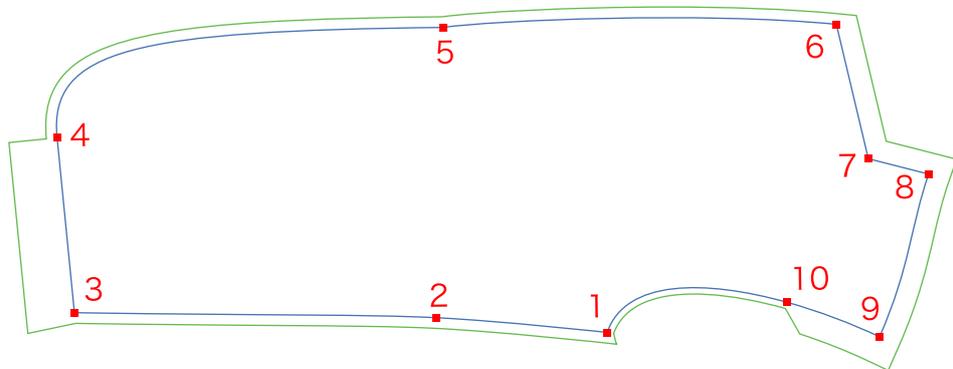
9. 次に前端の縫い代幅を変更します。
 同じ要領で範囲 4-6 を指定し、縫い代幅を 10 ミリに設定します。
 同様に 3-4、45 ミリを設定して次のコマンドを指定します。
10. 反転と 45° を設定しますが、この順番はどちらが先でも構いません。
 ここでは反転を先に設定します。
 まずポイント 1 の反転ですが、反転軸は脇線となるため、ポイント 1 から見た場合、反転軸はポイント 1 より先に位置します。つまり順方向に反転軸があるという意味で、この場合は反転順を適用します。
 反転順のアイコンを選択し「コマンド追加」ボタンを押します。
 マウスポインターが B に変化したのを確認し、ポイント 1 に持っていきます。ポインターが D に変化するのを確認してクリックします。
 反転順がコマンドリストに追加されたことを確認してください。同様にポイント 3 にも反転順を設定します。



11. 最後に 45° を設定します。
 45° の範囲指定をする際、45° にしたい部分を最後（二番目）に指定します。その指定方向によって選ぶアイコンが異なりますので注意してください。
 この場合アームホールのポイント 10 を 45° にしたいので、最初に指定するポイントは 6 番、最後に指定するポイントを 10 番とします。
 したがって指定方向は順となるため、選択するアイコンも 45° 順となります。
 45° 順を選択し「コマンド追加」ボタンを押します。マウスをポイント 6 の直上に持っていき、ポインターが D に変化するのを確認してクリックします。
 更にポインターが変化するので、ポイント 10 の直上にマウスを置き、ポインターが F に変化するのを確認してクリックします。
 「幅変更」テキストボックスに縫い代幅 20mm を入力し「幅変更」ボタンを押します。縫い代幅が変わったことを確認してください。またコマンドリストに 45° 順が追加されたのを確認してください。
 コマンドリストの設定はこれで完了です。プレビューにチェックを入れている場合、リスト内容が黙視できるので、間違いのないことを確認します。最終的なリスト内容は次図のようになります。

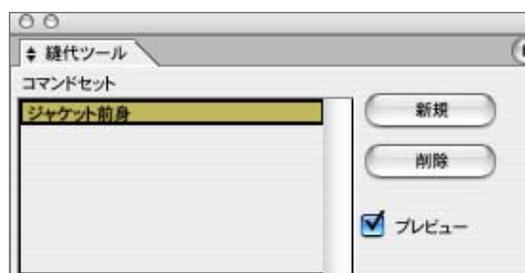


最終的コマンドリスト内容



プレビュー内容が上図のとおりであることを確認

- コマンドリスト内容に間違いがなければ、セット内容を保存します。パレットの「保存」ボタンを押します。コマンドリストに「ジャケット前身」が保存されます。



- 最後に「適用」ボタンを押します。プレビューの内容が再現され、縫い代付けが実行されます。レイヤーパレットに新しいレイヤー「自動作成縫代」が作られます。縫い代ツールで作成された縫い代はすべてこのレイヤーに収納されます。必要に応じて他のレイヤーに移動してください。

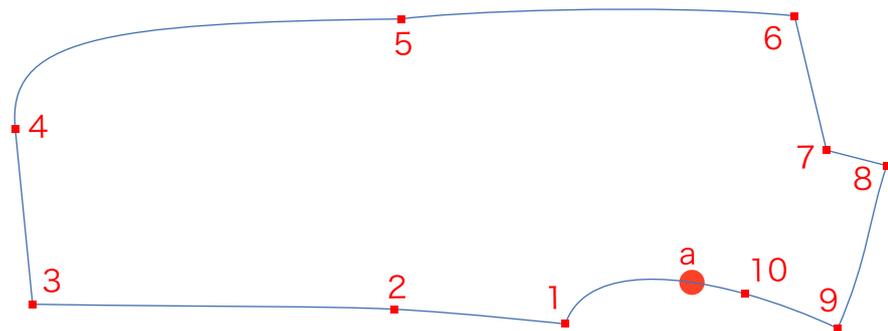
高度な機能

- コマンドリスト内容を変更する
- 保存されたコマンドリスト内容はすべて変更することができます。ここでは先に作成した「ジャケット前身」の内容を変更しながら説明します。設定内容の変更作業はすべて縫い代ツールパレットで行われますので、パレット作業を可能にするため、**パターン（クローズドパスのオブジェクト）が選択**されている必要があります。
- パターンを選択し、ツールボックスの縫い代ツールを持ちます。
- 基本縫い代
- 基本縫い代を6ミリから8ミリに変更します。コマンドセット一覧表にある「ジャケット前身」を選択します。基本縫い代幅入力ボックスに8ミリと入力し「作成」ボタンを押します。コマンドリストの基本縫い代が、8ミリに変更されます。
- 保存
- 上記作業で変更が完了したら、リスト内容を保存します。パレットの「保存」ボタンを押します。引き続き変更作業を続ける場合は、縫い代ツールパレットがONの状態のまま以下の手順に移ります。
- 片側延長
- 続けて片側延長1-3を10ミリから15ミリに変更します。コマンドリスト2番のコマンド「片側延長 1,3 10.0」を選択します。縫い代幅入力ボックスがアクティブになるので15ミリと入力し「幅変更」ボタンを押します。2番コマンドが15ミリに変更されます。
- リスト内容順番変更
- 上記変更によって2番のコマンド「片側延長 1,3 15.0」は、3番のコマンド「片側延長 4,6 10.0」より幅が広がります。片側延長のルールは**狭い幅から順番**に設定しなければならないので、2番のコマンドを3番のコマンドと入れ替える必要があります。2番コマンドを選択します。リストの右側にある「順番変更」ボタンの「下向き」を一回クリックします。2番と3番が入れ替わります。
- ポイント変更
- すべてのコマンドは、指定範囲のポイントを変更できます。「ジャケット前身」の7番目のコマンド「45° 順 6,10 20.0」を例にとって説明します。指定範囲をポイント10より下げた、アンカーポイントの無い位置に設定してみます。縫い代ツールパレットがONの状態のまま7番コマンドを選択します。

「ポイント変更」ボタンがアクティブになったら、ボタンを押します。マウスポインターが変化するので、最初のポイント6番の上に重ねます。ポインターがDに変化したらそのままクリックし、Eに変化したら、下図のとおりアームホール上の任意の点をクリックします。クリック点に赤丸が表示され、ポイント番号はaになります。縫い代幅入力ボックスに20ミリと入力し「幅変更」ボタンを押します。

このように、45°、折り返し、カンコは、それぞれアンカーポイント以外の位置にも設定することができます。

リストの7番コマンドが変更されたことを確認してください。



コマンド削除

すべてのコマンドは、削除することができます。

ここでは5番目のコマンド「反転順 1」を例にとって説明します。

縫い代ツールパレットがONの状態のまま5番コマンドを選択します。

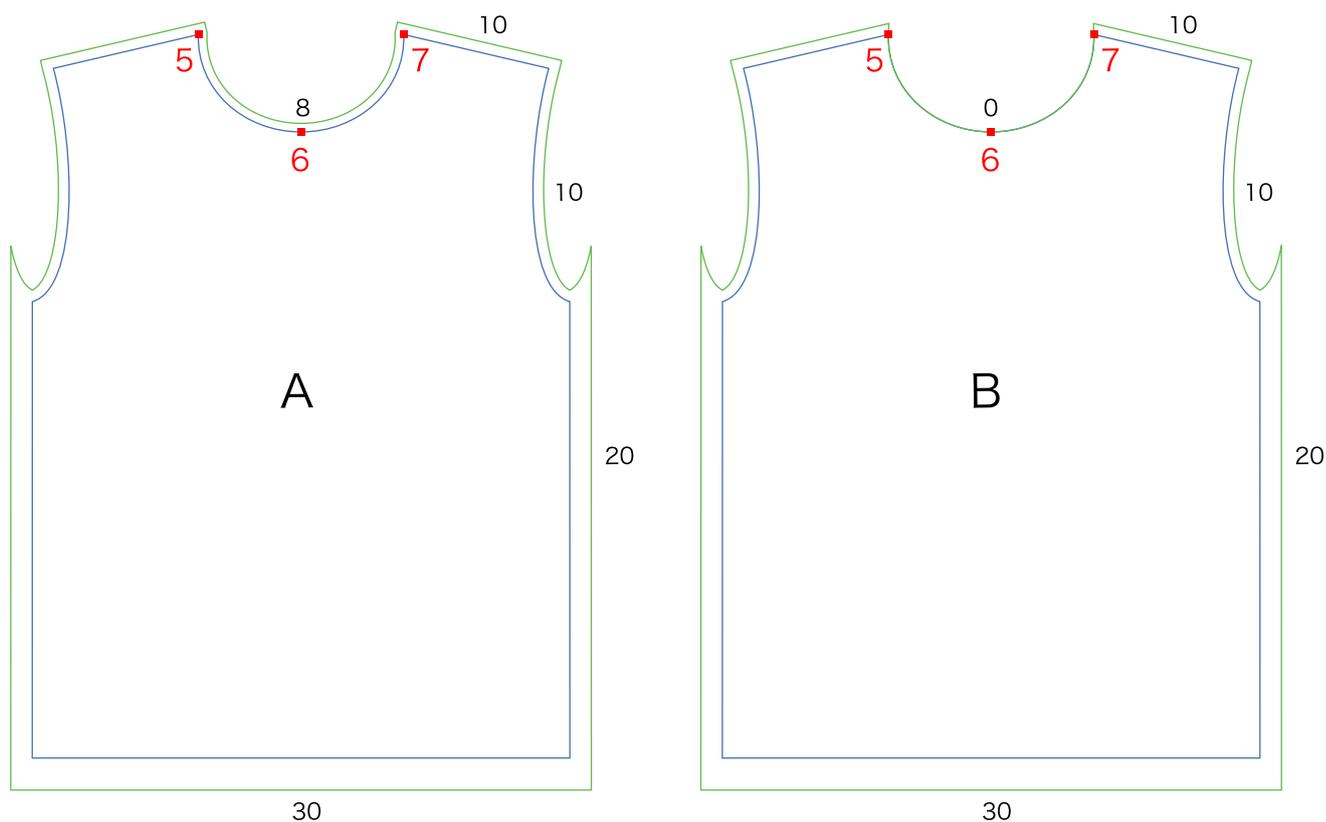
リストの右下にある「コマンド削除」ボタンを押します。

このように「コマンド削除」ボタンは、選択したコマンドをひとつずつ削除します。

またすべてのコマンドを一括して削除する場合は、「セット名」の右側にある「クリア」ボタンを押します。リストにある全てのコマンドが削除されます。

セットの再使用 保存されているコマンドセットは、再使用することができます。グレーディングされた各パーツは、サイズは違って同じアンカーポイントで同じ形状です。このような場合には保存したコマンドセットをボタンひとつで再使用できます。該当するパーツを選択し、縫い代ツールを持ちます。コマンドリストから該当するコマンドセットを選択します。パレットの「適用」ボタンを押します。

特殊な使い方 以下のようなパターンパーツを例に取り、縫い代ツールの特殊な使い方を説明します。



上図 A は一般的な T-Shirt の前身パターンですが、衿がバインダーの場合、衿グリにはバインダー幅の縫い代が含まれていることが普通ですので、そのような場合は B のように、衿グリを出来上がり線でカットする必要があります。その方法について説明します。

1. ポイント 5、7 に「切り落とし」を設定します。切り落としアイコンを選択して「コマンド追加」ボタンを押します。ポイント 5 を指定し「縫い代幅入力ボックス」に「0 ミリ」と入力します。同じようにポイント 7 を指定し「0 ミリ」と入力します。カンコを選択し「コマンド追加」ボタンを押します。範囲は 5-7 とし「縫い代幅入力ボックス」に「0 ミリ」と入力します。上記以外のポイントは前述のとおり、任意に設定します。全体のリスト内容は次のようになります。



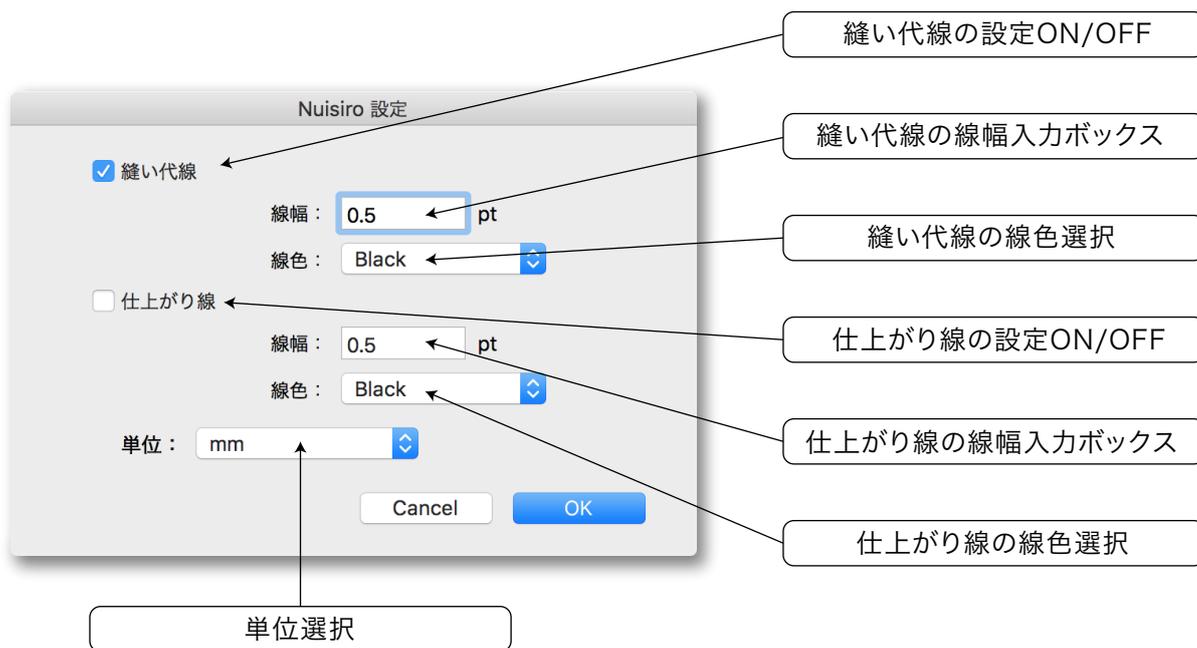
最終的コマンドリスト内容

この方法は袖口など他の部位にも応用できる便利なテクニックです。

注意 前述したとおり、切り落としコマンドは基本縫い代及び片側延長で生成された箇所のみで使用できます。反転、90°、折り返し、45°、カンコが設定されている角には適用されません。したがってこのT-Shirtの場合、ポイント5、7に**反転や90°**を使うことはできません。

単位や線色の設定

単位や縫い代・上がり線の色を変更するには、作業ツールパレット右上の「サブメニュー表示ボタン」から「初期設定」を選択します。



縫い代線の設定ON/OFF

チェックボックスがONの場合、縫い代線を書き出した際に線幅や線色の設定が反映されます。

縫い代線の線幅
入力ボックス

縫い代線の線幅を入力します。

縫い代線の線色選択

縫い代線の線色を選択します。

仕上がり線の設定ON/OFF

チェックボックスがONの場合、仕上がり線を書き出した際に線幅や線色の設定が反映されます。

仕上がり線の線幅
入力ボックス

仕上がり線の線幅を入力します。

仕上がり線の線色選択

仕上がり線の線色を選択します。

単位選択

縫い代ツールで使用する単位をmm, cm, inchから選ぶことができます。OKボタンをクリックすると適用されます。

縫い代ツールパレットがアクティブ (ON) にならない。

1. 縫い代を付けようとするパーツが選択されているか確認してください。
2. ツールボックスの縫い代ツールが選択されているか確認してください。

縫い代付け作業を中断したい。

1. ツールボックスの別のツールに持ち替えてください。
ただしショートカットでは反応しませんので、マウスで持ち替えてください。

作業を中断したのに、パーツ (オブジェクト) からポイント番号の表示が消えない。

1. レイヤーパレットの「ワークレイヤー 1」及び「ワークレイヤー 2」を削除してください。

設定したとおりの縫い代が作成されない。

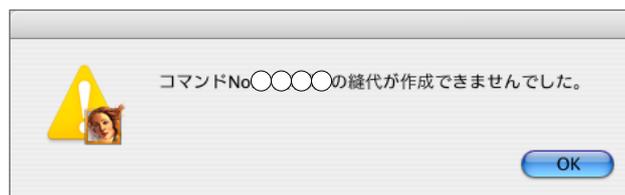
1. マニュアルの「各コマンドの使い方とルール」を参照し、それぞれのコマンドに間違いがないか確認してください。
2. 設定した縫い代幅の単位が間違っていないか確認してください。
縫い代ツールの単位はミリのみです。

アラート表示について

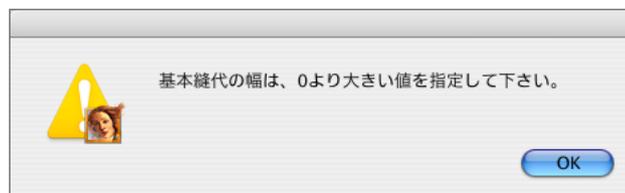
縫い代付けの作業中、誤った操作などによっていくつかのアラートが表示されます。ここでは各アラートの解説と回避方法について説明します。



縫い代ツールが使えるパスはクローズドパス（閉じたパス）のみです。



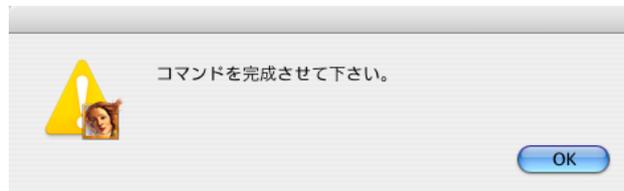
コマンドの内容に実行できないような矛盾が含まれている場合、縫い代ツールは上のような警告を発します。縫い代幅や範囲の指定方向、コマンドの順番などを確認してください。



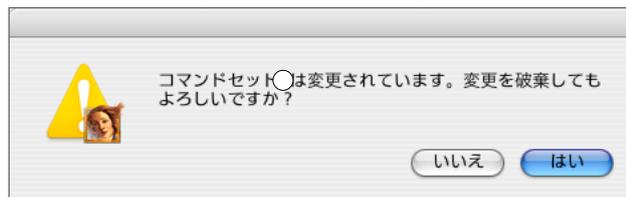
基本縫い代入力ボックスに入力できる数値は0より大きい必要があります。



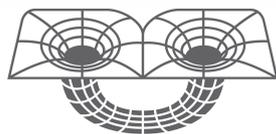
上記ふたつは、片側延長、折り返し、45°、カンコ等、縫い代幅を設定するコマンドを操作中、何らかの不正な操作（リスト内の空白箇所をクリックしてしまう等）を行ったときに出るアラートです。アラートの「OK」ボタンを押し、リスト内の該当コマンドを選択し直します。作業が続行できます。



片側延長、折り返し、45°、カンコ等、縫い代幅を設定するコマンドを操作中、何らかの不正な操作（コマンドセット一覧表内の空白箇所をクリックしてしまう等）を行ったときに出るアラートです。アラートの「OK」ボタンを押し、一覧表内の該当コマンドを選択し直します。作業が続行できます。



コマンド作成中に、他のコマンドを選択したときに出るアラートです。「はい」ボタンを押すと作業途中のコマンドは破棄されます。「いいえ」ボタンを押すと作成中のコマンドがその段階で保存されません。



BABY UNIVERSE

監修



Copyright SEAGEL GARMENT TECHNOLOGIES Incorporated.

2005 年 3 月 発行 無断転載禁止